



# 感染症に気をつけよう



## 1. 全数報告感染症(感染症法1～5類感染症):1月の報告

破傷風の報告が 1 件ありました。けがによる傷口からの感染

が原因と推定されています。成人の場合、破傷風の原因の大部分は傷口からの感染であり、しかもごく小さな傷口からも感染する可能性があります。破傷風の予防接種は小児というイメージがありますが、破傷風菌は土の中に常在するため、特に農作業に従事する方や、ガーデニングを趣味とされる方は成人であっても予防接種をお勧めします。

その他、コレラ・パラチフス・細菌性赤痢・レジオネラ症・アメーバ赤痢各 1 件の報告がありました。このうち、コレラはフィリピン、パラチフスはパキスタンでの感染と推察されています。

## 定点報告感染症(感染症法における5類感染症)

平成 23 年 12 月 19 日～平成 24 年 1 月 22 日

疾患名	市内流行状況	コメント
<u>インフルエンザ</u>		冬休みが終わった頃から患者数が増え始め、横浜市でも注意報が発令されました。今後さらに患者数は増えていくと予想されています。
<u>感染性胃腸炎</u>		ピーク時に比べると患者数はやや減少していますが、まだ流行期を脱していない状態です。
<u>水痘</u> (水ぼうそう)		昨年 12 月の患者数は、過去 5 年間で最も多い数値でしたが、1 月に入ってからの患者数は減少に転じています。

増加   
 やや増加   
 横ばい   
 やや減少   
 減少

## 2. 今気をつけたい感染症

インフルエンザ：主に冬に流行する感染症で、主な症状は発熱(高熱)、筋肉痛・頭痛などです。代表的な感染経路は飛沫感染、つまりインフルエンザに感染した人の咳やくしゃみを介した感染であるため、人混みを避けることも重要です。インフルエンザにはシーズン前のワクチン接種が重要ですが、100 パーセント感染を防止するものではないので、うがいや手洗いをしっかり行いましょう。

・インフルエンザ臨時情報 [2011/2012 年シーズン](#)

・パンフレット [正しい手洗い\(日本語版\)](#)

「感染症に気をつけよう 2 月号」は、平成 24 年 1 月 26 日の横浜市感染症発生動向調査委員会の内容を市民向けに加工したものです。詳しくは、[委員会報告](#)をご覧ください。

市内感染症に関する詳しい情報は、[感染症発生状況](#)をご参照ください。

また、衛生研究所では、一般の方用の[パンフレット](#)の作成もしていますので、併せてご利用ください。

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課(横浜市感染症情報センター)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/>

